



【ブロック支部からのお知らせ】

■日本プライマリ・ケア連合学会第13回東北ブロック支部学術集会 開催報告

会長 下沖 収 (岩手医科大学医学部 総合診療医学講座 教授)

学会テーマ 「これからのプライマリ・ケアと総合診療」～ 東北で実践するプライマリ・ケアと総合診療アップデート ～

日時 2023年9月9日(土) 10日(日)

会場 エスポワールいわて (岩手県盛岡市中央通一丁目1-38)

主催 日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部 (岩手県支部会)

共催 岩手県立病院医学会 総合診療分科会

<https://jpca13tohoku.official.jp/>



2023年9月9日(土)、9月10日(日) 「これからのプライマリ・ケアと総合診療 ～東北で実践するプライマリ・ケアと総合診療アップデート～」をテーマに、エスポワールいわて(岩手県盛岡市)において東北ブロック支部学術集会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、4年ぶりに現地開催をメインとして開催しました。当日は台風の影響が心配されましたが、幸い大きく天候が崩れることなく予定通り開催することができ、現地には162名と多くの皆様のご参加を頂きました。特に今回は、一般演題が30題と多数ご発表いただき、活発な意見交換が行われ、東北のプライマリ・ケアと総合診療の裾野が着実に広がっていることを実感できました。



<9月9日：1日目>

基調講演は「プライマリ・ケアと総合診療のこれから」と題し、日本プライマリ・ケア連合学会理事長の草場鉄周先生にご講演いただきました。現在の日本の高齢社会の状況と医療環境、新型コロナウイルス感染で見た課題も含めてプライマリ・ケアと総合診療がますます期待されていること、私たちのミッションを改めて確認することができました。

シンポジウム1は「検証！新型コロナウイルス感染症とかく闘えり」と題し、東北各県の医師、薬局薬剤師、public health、感染制御部門など多様な立場からの報告を受け、見えていなかったそれぞれの奮闘を知り、普段から職種や立場の違いを超え、お互いを理解し連携することの重要性を再確認しました。

特別公演は「EBMを活用してプライマリ・ケアと総合診療をアップデートする」と題し、社会福祉法人 聖母会 聖母病院 総合診療科部長で日本プライマリ・ケア連合学会理事の南郷栄秀先生にご講演いただきました。南郷先生自身のライフヒストリーとともに、実際に先生がどのようにEBMを実践し、診療をアップデートしているかをお話いただきました。エビデンスをアップデートする具体的な手法、そして後進の教育を通して「共に学びあう」ことでアップデートできることを教えていただきました。

情報交換会には80名のご参加をいただきました。久しぶりに東北の仲間同志が、対面で語りあい、交流を深め合う喜びと温かさを感じる場となりました。今回は各県から多数の学生にも参加していただき、明るい未来の息吹を感じることができました。



<9月10日：2日目>

シンポジウム2では「"総合診療専門医"という生き方 ～キャリアと未来を語るシンポジウム～」と題し、日本専門医機構による総合診療専門医と総合診療関係のサブスペシャリティ3領域4人の若手医師が、どのような日常・臨床・キャリアを描かれているかを率直に語っていただきました。専門医制度では描ききれないキャリアパスを知ることで、お互いの共通性と強みを具体的に教えていただきました。領域の違いを超えて協調してつくる総合診療の未来をパネリストの皆様から感じるシンポジウムでした。

ワークショップは「エビデンスに基づいてポリファーマシーを上手に解消する」と題し、1日目に引き続き、南郷栄秀先生を講師に、JPCA 東北ブロック支部薬剤師部会の皆様とのコラボレーションでおこなわれました。ポリファーマシーを根拠（エビデンス）をもとにどう減薬するかをグループで話し合っシミュレーションしました。活発なディスカッションが交わされ質疑応答も大いに盛り上がり、明日からの実践に活かせる学びを頂きました。

一般演題は2日間を通して、会場に入りきれないほどの参加者のもと、興味深い発表と質疑応答が続き、熱気に満ちた場となりました。多くの演題の発表は、この学術集会の成長を実感させられる素晴らしいことと感じました。ただ、基調講演・シンポジウムと同時刻で一般演題を行わざるを得ず、発表時間と重なったためにご希望のセッションに参加できなかった皆様には大変申し訳なく思いました。

閉会式では大会長 下沖 収からの挨拶と御礼に続き、次回学会大会長 宮城県支部長 東北大学病院 総合誌地域医療教育支援部 教授 石井正先生に代わり、准教授 小野寺浩先生から、第14回東北ブロック支部学術集会を来年9月に仙台で開催することの宣言をいただき、盛会のうちに終了となりました。

テーマのとおり「これからのプライマリ・ケアと総合診療」の未来を、時代・社会の要請による必然と責任、そしてこれからの若い世代の新しい力を希望として再確認できた会になったと感じております。これもひとえに、遠方よりお運びいただきました草場鉄周理事長、南郷栄秀先生はじめ、座長や演者の皆様、そしてご参加いただきましたすべての皆様のおかげであり、この場をかりて深く御礼申し上げます。全て手作りで企画運営したため、

何かとご不便をおかけしご期待に沿えないところもあったかと思いますが、何卒ご容赦いただければ幸甚に存じます。当日ご希望のセッションに参加できなかった方や現地参加できなかった方にはアーカイブ配信を予定しておりますのでぜひご覧頂ければ幸いです。

来年もまた仙台で皆様とお会いできますことを楽しみにしております。

報告：第13回ブロック支部学術集会実行委員 山田哲也

【県支部活動】

秋田県支部

<https://www.jpcaakita.org>

■2023年度 秋田県支部総会開催のご案内

今年度の秋田県支部総会は、11月5日(日)13時から秋田大学医学部40周年記念講堂で現地開催することとなりました。

特別講師に、エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社の小西竜太先生をお招きし、多職種連携についてお話いただく予定です。小西先生は総合内科医でありながら、経営戦略や医療安全、ノンテクニカルスキルなど多方面にわたり造詣が深い先生でいらっしゃいます。(学会誌『プライマリ・ケア』でも現在連載をお持ちです)

特別講演後は、秋田県内各地の多職種連携の実情について会員より報告いただき、フリーディスカッションで小西先生と参加者で学びを深めていただく予定です。

詳細なプログラムや申込方法などについては、近日中に県支部ホームページ(「JPCA 秋田」で検索ください)ならびに県内会員向けのメーリングリストでお知らせいたします。

多数のご参加をお待ちしております!

日本プライマリ・ケア連合学会 秋田県支部

Japan Primary Care Association Akita Chapter

ホーム

お知らせ

秋田県支部について

会員規則

お問い合わせ

リンク

学術の進歩 知識の普及

学会の目的の達成および秋田県における家庭医療や総合診療に
関する学術の進歩、知識の普及を図る



報告：秋田県支部 幹事 渡部 健（秋田大学）

福島県支部

<https://jpcafksminfo.wixsite.com/website>

■福島県支部 役員改選のお知らせ

日本プライマリ・ケア連合学会福島県支部では、2023年6月25日に年次総会を開催し、2年の役員任期に伴う役員改選を行いました。

前支部長の葛西龍樹先生（前福島県立医科大学医学部地域・家庭医療学講座教授）に代わり、支部長には菅家智史先生（福島県立医科大学医学部地域・家庭医療学講座講師）が選出され、支部長からの役員提案で12名の役員が承認されました。詳細は上記福島県支部のWebサイトをご参照ください。

■第5回ふくしまプライマリ・ケアトーク 開催報告

「いま老年栄養がアツい！ 知ってて損しない臨床栄養の誤解と正解」

医療法人社団養高会 高野病院 社本博先生

日時：2023年6月25日（日）16時～17時

福島県支部会では、多職種でプライマリ・ケアにまつわるトピックを学ぶオンライン勉強会「ふくしまプライマリ・ケアトーク」を年数回開催しています。

令和5年度の1回目は6月25日に「いま老年栄養がアツい！ 知ってて損しない臨床栄養の誤解と正解」題いまして、高野病院 院長 社本博先生に講演いただきました。老年栄養の基本のキから、踏みたくない地雷、現場で役立つポイントをユーモアたっぷりに学ぶことができました。参加者からは「介護における栄養管理の考え方がわかった」「対象者別の栄養のアプローチが分かった」「栄養補助食品、コンビニ食などについても学べた」など

日本プライマリ・ケア連合学会 東北ブロック支部 ニュースレターNo.35 (2023.9)
の感想が寄せられました。今後も多職種が気軽に学び合える会として、ふくしまプライマリ・ケアトークを企画・
運営してまいります。



第5回
ふくしま プライマリ・ケアトーク
いま老年栄養がアツい！
知ってて損しない
臨床栄養の誤解と正解

2023年 6月 25日 日 16:00~17:00

講師：社本 博先生 医療法人社団養高会 高野病院



臨床の現場では誰もが大事だと知っている栄養療法ですが、学びの場はそれほど多くはありません。そして栄養療法は、医師だけでなく多職種の皆さんが参加して初めて成功します。高齢化社会では老年栄養がホットトピックです。基本のキから、踏みたくない地雷、現場で役立つポイントまで、皆様にお伝えできればと思います。是非お気軽にご参加ください。

会場：ZOOMミーティング 参加費：無料
*会員でなくとも、福島の医療・介護職の方はどなたでも参加いただけます！（定員100名）
*同日15-16時にJPCA福島県支部総会も開催します。

お申込み 

お問合せ
主催/日本プライマリ・ケア連合学会
福島県支部
〒960-1205 福島県福島市光が丘1番地
福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座内
[TEL] 024-547-1516
[E-mail] office.jpcafksm@gmail.com
[HP] <https://jpcafksminfo.wixsite.com/website>

ご質問・お問い合わせなどは JPCA 福島県支部 事務局までご連絡ください。
皆様のご参加をお待ちしております！

日本プライマリ・ケア連合学会福島県支部 事務局 office.jpcafksm@gmail.com